



坂 井 市

坂井 市議会だより

6月定例会

表紙:坂井市フォトコンテスト入賞作品より
「初夏のゆり園」 佐々木哲郎氏

主 な 内 容

正副議長あいさつ	2
一般質問	3~9
委員会報告	10~11
議会の構成	11
補正予算概要	12
広域連合・一部事務組合報告	12
定例会審議結果	13
議会報告会報告	14~15
お知らせ	16



平成24年11月発行
市議会だよりの

**10・11月の時節にあう
表紙写真を募集!**

お問い合わせは議会事務局へ
(TEL:0776-50-3001)

議長に釣部氏 副議長に永井氏 就任



議長 釣部 義勝

このたび、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。もとより浅学非才の身ではありますが、その職責の重要さを自覚し、身の引き締まる思いであります。

市政の運営に関しては、二元代表制の一翼として重大な責務を担っています。議会及び議員としての責務を常に自覚し、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会でなければならなと思っています。

坂井市が誕生して七年目を迎え、これまでの成果を踏まえ、「新たな一歩」を踏み出す重要

な年であります。

本年も引き続き、県に対しての重点要望は、福井港・丸岡インター連絡道路の整備などであります。東西に長い行政区域を有する本市として、交通ネットワークの強化と整備促進、観光産業・地域産業に対する経済活性化を図る上で重要です。国、県に対して要望活動に力を注いでまいります。

また、本年度は「公共施設のマネジメント白書」を策定しました。引き続き、行財政改革を実行しなければなりません。市民の皆様にご協力をお願いします。

今後とも、皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。



副議長 永井 純一

今回、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。皆様の期待にお応えできるよう、議長を補佐し、全力で努めてまいります。

議会、議員の目的・使命は、市民の福祉の向上にあります。私たちは、安全安心のまち、活気あふれるまち、心と絆を大切にするまちを目指すべきと考えます。

その実現のため、開かれた議会、二元代表制の一翼を担う議会の機能を強化し、高めることが必要と考えます。

この四月には、議会基本条例

を策定し、施行いたしました。これまで以上に、市民の声を聞き、対話を重ねながら、皆様の声を反映した政策を実現していきたいと思っています。

厳しい社会情勢の中、対立の時代ではなく、市民、行政、議会が知恵を出しあって、素晴らしい坂井市を築いてまいりましょう。

今後とも、みなさまの力強いご支援とご協力を心からお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



6月定例会

一般質問

坂井市の発展と環境保全の両立についてのサステイナブル

嶋崎議員 今日より明日という持続可能なまちを目指し合併して7年目。

行政運営の根幹となる総合計画の後半を迎え、実施計画も30近く策定されている。

持続可能性をどういう形で確保し、どう計画していくのか。

市長 総合計画前期基本計画の市民評価と意向を確認し、分析結果を踏まえ各種施策の優先順位の設定や、より効果的な事業促進を目指し、本年度策定する総合計画後期基本計画に反映させる。

生活環境の分野では、ごみの減量化、資源化の推進が高い満足度を示し「一般廃棄物の住民一人1日あたりの排出量」や「一般廃棄物のリサイクル率」の設定指標「海ごみ川ごみプラットフームさかい事業」や「坂井市ライトダウンキャンペーン事業」など持続可



▲白茎ごぼう(春江町木部西方寺)



嶋崎 正宏

能性として評価されている。

産業の経営基盤の安定、企業誘致など施策の活性化をさせる必要がある。

持続可能な都市(まち)を目指すには、施策を選択と集中により十分検討し、総合計画の各種施策を充実させていくことが重要である。

※サステイナブル：持続可能な

防災無線の定時試験放送について

辻議員 災害情報の伝達以外に防災無線をどのように活用していくのか。

市長 行方不明者に関する情報提供や交通事故多発に伴う注意喚起、坂井市主催行事の案内など、広く住民に案内する行事や住民の安全を確保するため放送などに活用していきたい。

熱中症対策について

問 市民に対する啓発活動をどのように行うのか。

市長 市のイベントや住民健診などの機会を利用してチラシ配布などを行っていき。さらに敬老会でも啓発に努めたい。

学校現場での対策は。

教育長 朝の会や授業で注意喚起を行うとともに、保護者に対して保健だよりや学校だよりを通じて予防対策を講じている。

節電対策について

問 市有施設の節電対策は。

市長 冷房温度設定の徹底や業務に係わる照明や電気機器などの節電に積極

的に取り組んでいる。本庁では電力デマンド計を設置して電気使用量削減に努めているほか、総合支所などにエネルギー管理システムを導入して契約電力の増加防止を図っている。

水源保全について

問 未来につながる林業の育成をどのように進めていくのか。

市長 国や県の補助事業を活用しながら、市と坂井森林組合、地元林業者が連携して林業振興を図っていききたい。

問 外国資本による森林買収が全国的に話題になっているが、坂井市における現状は。

市長 現在のところ、坂井市内の山林で外国資本による森林買収の事例はないが、今後も県との連絡会議などで情報の共有を図りながら監視をしていきたい。



▲丸岡町竹田地区



辻 人志

介護予防（地域支援事業）の充実について

伊藤議員 各地区の介護予防拠点施設での事業実施状況について。

福祉保健部長 丸岡地区では4か所の介護予防拠点施設で年間計593回、社協の事業で3か所年間計176回、地域サロンが101回。三国地区では、介護予防拠点施設で年間計336回、社協の事業で年間146回、地域サロンが119回。春江地区は、社協の事業で年間49回、NPOの事業が年50回、地域サロンが97回。坂井地区は、NPOの事業が年162回、社協の事業で年98回、地域サロンが93回となっている。

問 市直営の介護予防拠点施設指定管理委託料の財源に、介護保険料が含まれているが、問題はないのか。

福祉保健部長 介護予防事業に従事している方の人件費相当分であり、充当財源として適切との指導を受けている。

問 介護予防・日常生活支援総合事業で、一般高齢者は対象となるのか。

福祉保健部長 国より示されたように、二次予防対象高齢者と、要支援1・2の方が対象で、一般高齢者は対象とならない。

問 配食サービスの事業

内容の見直しにより、会食サービスが対象外となった。生活圏域の実情を踏まえると、見守り・閉じこもり防止のサービスとして、継続する事が効果的と思えるが。

福祉保健部長 配食サービスは、食の自立支援が趣旨であり、会食は補助対象外となっている。今は社会福祉協議会が、共同募金を財源として実施している。

問 包括支援センターのあり方について、介護予防事業の重要性とセンター機能強化の観点から、体制の見直しが必要ではないのか。

市長 今後さらに高齢化が進むことは

確実であり、介護予防の中心的役割を担う地域包括支援センターは益々重要となる。今年度は再編について協議し、センターの機能強化を図っていききたい。



▲会食サービス（春江町いちい荘）



伊藤 聖一

介護カードについて

川畑議員 介護中であることを周囲に理解をしてもらうために、介護カードを導入しては。

市長 今後、要介護者が増加することが予想される。介護カードの趣旨に賛同、導入に向けて研究したい。

▼転入者個人情報について

問 災害時には住民情報が重要であり、住民の把握のため、区長に転入者情報を伝えるべきでは。

市長 本人の同意なしでは住民基本台帳法に反し伝えられない。住民基本台帳法の閲覧制度を利用していただきたい。

▼職員の健康管理について

問 健康を害し、病んだり、病欠をしている職員が増えていく。職員の健康に対する調査及び取り組みと、精神的な疲労に対する取り組みは。

市長 毎年健康診断・人間ドックを実施しており、精神面では専門の医療機関に委託し、メンタル相談のできる体制を整備している。

▼認定NPO法人への支援について

問 NPO法人自身や寄付者に対し税制上の優遇措置などを受けられる、認定NPO法人取得に向けた、支援アドバイスの取り組みができないか。

市長 県は専門家による個別相談会や派遣による個別指導を行っている。今後も県の所管課との情報交換や連携を密にしたい。



▲介護カード（勝山市の例）



川畑 孝治

老人クラブ助成事業について

高間議員 老人クラブへの加入者数・加入率と現状把握状況は。

福祉保健部長 市全体で95クラブあり、5,970人が加入しており、加入率は20.6%と低く、会員数は減少傾向にある。今後も老人クラブがそれぞれの地域性や特色を保ちながら、クラブ活動に積極的に取り組むためにも、会員増加に努めていきたい。

問 単位老人クラブへの補助金は定額であるが、会員数に応じて加算すべきでは。

福祉保健部長 会員数が30人以上の場合合は国から42,600円、市単独補助として一律20,000円であるが、今後は活動内容や参加状況など老人クラブと協議し考慮したい。

■包括的支援事業について

問 各町の老人クラブ連合会への委託費に、大きな開きがあるが、その理由と算出基準は。

福祉保健部長 「高齢者生きがいと健康づくり推進事業」は、スポーツ大会や健康講座、教養講座、クラブ活動など健康づくりの事業を行っている。

合併前、旧町単位での

助成事業は施策の違いから、事業内容などで委託費の格差が生じていた。

今後は、高齢者の活動意欲を保持し、地域ごとの特色ある事業を検証しながら、格差の是正を行っていきたい。

■いちいち利用者の送迎について

問 春江総合福祉センターいちいち荘は、地域に根ざした社会福祉としての憩いの場である。

年々利用者が減ってきている一番の原因は、交通手段にあると思われる。

坂井老人福祉センターと同様に、予約制による単位老人クラブ利用の場合には、送迎バスの運行で4町とも公平に支援すべきでは。

福祉保健部長 利用者を増やす取り組みとして、利用形態や送迎バスの運行を社会福祉協議会や老人クラブと協議していきたい。

▼老人クラブ送迎
(坂井老人福祉センター)



高間 正信

老朽危険家屋や迷惑空き家の適正管理について

古屋議員 老朽家屋や迷惑空き家の現状と対応は。

市長 空き家実態調査により1,405棟の空き家のうち110棟を廃屋と確認している。

特定行政庁の県が建物の除去、修繕、使用制限などを命ずることができるが、市では対応の判断に苦慮している。

問 老朽家屋化してしまう原因は。

市長 所有者の経済的事情により解体除去費用が用意できないことや、借地上的建物であることから土地所有者と建物所有者との間でのトラブルで放置されてしまうこと、相続人が多数のため、土地・建物の利用についてまとまらないことがあげられる。

問 行政の取り組みが必要な中、中心となる部署はどう考えるか。

市長 坂井市空家・廃屋対策検討委員会の事務局を建設部都市計画課に置いてあることや、空き家台帳を整備している事などの理由から都市計画課が中心として取り組みたい。

問 条例制定・財政の支援が必要ではないか。

市長 必要に応じて是正措置の勧告・命令及び所有者の公表などを実施している先進自治体を参考に、空き家の適正管理に関する条例の制定を考えている。

■自転車の安全利用について

問 自転車通行ルールの周知・安全運転など学校現場における効果的な指導について。

教育長 警察や交通指導員による実際の現場などでの特色のある指導を行っている。

問 自転車利用について市が取り組むことは何か。

市長 安全に通行できる道路環境の整備に努めることや、児童生徒に対し自転車交通教室を通じ交通ルールの啓発・指導に取り組む。

高齢者の自

転車利用については、体験型交通指導教室を開催し、交通ルールの学習も行なう。



▲早朝街頭指導(丸岡南中学校)



古屋 信二

空き家対策条例制定について

東野議員 空き家対策はなぜ必要なのか。

市長 地震、台風などの災害、劣化による倒壊や崩落、不法侵入による治安の悪化、景観の悪化、周辺への悪影響を及ぼす恐れがある。

問 空き家対策を進める上での課題点は。

市長 個人の財産上の権利を行政機関が公益上の必要性を理由にはく奪、制限してもよいのかという問題点がある。

問 代執行と撤去に当たつての補助金制度を盛り込むこと。

市長 代執行に対しては、慎重に判断して、前向きに取り組む。補助金制度を盛り込むことについては、慎重に判断したい。

問 広域的な取り組みを要望する。

市長 広域的な取り組みについては、県に会議などで継続して要望する。

問 市の事業の進め方について

市長 市長は議会の役割をどう認識するか。

市長 市民の代表であり、条例や予算を議決し、行政運営や事務処理を監視

する重要な役割を持つ。

問 事業を進めるにあたり、議会への説明をどう指示しているか。

市長 議会での承認、議決事項、重要な施策の計画や基本方針の決定などを委員会、全員協議会へ提案するよう指示している。

問 議会への説明や関係する市民、地元地区への事前の説明が不十分ではないのか。

市長 市としての基本方針案などを議会や市民に説明していく中で、意見をいただき、計画などの一部変更や見直しなどを柔軟に対応してきた。



▲坂井市の各種計画書



東野 栄治

総合計画後期基本計画について

南北議員 市民2,400名を対象に行つた市民満足度調査集計結果について、各37施策の重要度をどのように認識しているか。

市長 重要度が高かつたのは行政改革の推進、防災対策の推進、雇用環境の整備である。これらを進めていくまちづくりの方針として、積極的に取り組んでいく必要があると認識している。

問 行政改革の推進について、市民満足度100%に向けた現在の状況と課題は。

市長 行政改革大綱策定以来、その財政効果額は23年度までの5年間で56億3,000万円に達する見込みである。第二次行政改革では、公共施設の見直し、受益者負担の見直し、職員や市民の意識改革など市民にも痛みが伴う質的改革も推進しなければならない。

問 大雨による水害、竜巻による風害など様々な災害を想定し、親子避難訓練の実施をしては。

教育長 PTAの役員に会合の中で保護者に問いかけて、学校開放日などに避難の経路を確認するよう呼びかけていく。

問 雇用環境の整備についての現状と課題を踏まえた今後の取り組みは。

市長 地域産業界の活性化が不可欠であり、より一層企業誘致活動を核とする施策を強力に実施していく。

また、産学官連携を充実させていきながら、情報の収集、発信、さらに起業を促す施策を推進していく。

問 情報交流活性化を図るためにface book（フェイスブック）を活用しては。

総務部長 さまざまな課題があり、危険が潜んでいることも指摘されているので、今後、十分に考慮していく。



▲地震・津波の避難訓練（三国地区）



南北ちとせ

産学官連携事業について

田中議員 産学官連携事業の現状は。

市長 市の審議会や各種委員会への講師派遣、大学生の就職支援、大学の公開講座への職員参加など、人的交流を主体に連携をしている。

その他にも、官学連携協定前の平成22年度では、市商工会のPRのため、輸送トラックに掲載するデザインを福井工業大学に作成依頼し、トラックにラッピングした取り組みをした。

問 今後の産学官連携事業の展開は。

市長 産学官連携による観光と産業振興に関する取り組みとして、企業間連携による商品開発とデザイン、情報の発信方法、販売開拓等に係る相談と共同開発などの調査・研究を行う。その中で現在の官学連携を発展させていきたい。

問 福井工業大学との相互協力協定書の実施状況と今後の取り組みは。

市長 実施状況について、専門員の派遣として環境審議会委員や市学校給食センター建設に係る審査委員に入っている。

大学生の支援についても、平成23年

度の市内企業へのインターシップ参加として4社、5名の実績であった。

また、大学との公開講座への職員参加は8講義で11名、学生との協働では、児童・生徒を対象としたサポート事業には、市内の小学校や公民館・児童館に学生が向いて、化学実験をするキヤラバン隊が3回開催され、267名が加した。

今後の取り組みについて、本年10月に開催される「市産業フェア」の実行委員会に参画し、大学ブースを設置する。

また市の総合計画審議会委員として、各種基本計画の立案に参加するなど、大学との連携をより深め、市内の産業界の発展に繋げたい。



坂井市と福井工業大学との相互協力協定

田中 哲治

通学路の安全対策について

永井議員 通学路の危険箇所、安全の総点検は。

教育長 5月15日に、校長・警察署と通学路の安全点検に係る会議を開催し、すべての学校で、教職員、保護者、見守り隊の協力で点検を実施した。その結果、危険箇所が157箇所あった。

問 危険箇所への対応は。

教育長 通学路の変更を5ヶ所行った。今後、学校、PTA、見守り隊、行政機関、警察などで対応できる箇所を仕分けし、解決をしていく。

問 防災教育の進捗状況は。

教育長 これまでの防災訓練に加え、津波や水害、土砂災害を想定した訓練を実施している。

さらに今回、地震速報などの情報を伝える緊急地震速報システムを最初に春江小学校に導入する。このシステムを活用した避難訓練や防災アドバイザーによる危機管理マニュアルの見直しを行う。

協働のまちづくりについて

問 行政の姿勢が大事と思うが、これからの行革の方向性と、職員の意識改革について。

市長 さらなる行革推進のため、3月に第二次行政改革大綱を策定。その中で、職員の意識改革と活性化を重点項目のひとつとして設け、育成を強化していく。

問 財政の見える化を図るため、役所に借金時計を設置しては。

市長 市の財政運営について、常に関心を持ってもらうことは良い試みと思う。今後、検討する。

問 まちづくり協議会が独り歩きできるまで、公民館に職員を配置しては。

市長 いろいろな要素があるため、慎重に対応を考えていく。



▲市内通学路（春江町随応寺交差点）

永井 純一

小水力発電の取り組みと 節電について

畑野議員 積極的に小水力発電に取り

組み、電力の地産地消の実現を求める。
また、一般家庭で消費電力を少なく
する運動を展開し、地域ぐるみで節電
する取り組みを求める。

市長 エネルギーの地産地消という考
えに基づいて、情報収集や関係機関と
の連携を図りながら、事業の実現化に
向けた支援体制を整えていく。

また、各家庭で節電に心がけてもらい、
それが地域全体へのまとまった取り組
みにつながっていくことが大事と考える。

丸岡城の城門の復元を

問 丸岡城の城門のうち現有するのは、
丸岡町野中山王にある不明門、旧金津
町前谷にある蓮成寺の門(写真①)小松
市にある興善寺の門(写真②)があげら
れる。

これらの貴重な門を含め、城門を調
査し、復元を求める。



▲①蓮成寺(あわら市前谷)



▲②興善寺(石川県小松市)

教育長 来年度から、城郭

の範囲確認を目的とした発掘調査を計
画しており、調査成果と専門家の検証
に基づく復元が城郭の価値を高めるも
のであり、慎重に進めるべきと考える。

みくに龍翔館予算に資料購入費を

問 みくに龍翔館の予算には、研究図
書購入費2万円が計上されているが、
貴重な資料が市場に出回っているとき
など購入する予算がない。

資料館として、しっかりと位置づける
ためにも、資料購入費の計上を求める。

教育長

入手する必要がある貴重な資
料については、その都度予算を計上し、
博物館・資料館として事業の拡大、展
開を図っていく。

小中学校の生活支援員配置を

来年度以降も継続を

問 気がかりな子どもがいるクラスに
配置される生活支援員は、一人ひとり
の子どもたちと関わる上で大切な役割
を果たしている。来年度以降も継続す
べき。

教育長

緊急雇用事業が終わると市費
単独財源での配置が困難なため、国や
県に対し市の重点要望事項として財政
的支援制度の確立を要望する。



畑野麻美子

医療費削減について

田中議員 国民健康保険の高額医療費

のレセプトを点検して、原因と適切な
医療が行われているか、保健指導につ
いて問う。

市長 特定検診の受診率の向上や早期

の生活習慣病改善への訪問指導・健康
教室を開催している。

問 ジェネリック医薬品の普及促進に

ついて。

市長 ジェネリック医薬品に関するお

知らせを年2回3月と9月に送付する。

問 ジェネリック医薬品になった場合

の効果額は。

生活環境部長 一ヶ月で約1,350万

円の効果が推計される。

問 糖尿病対策は。

市長 今後とも検診の受診率向上や生活

習慣病予防の意識啓発を積極的にに行い、
市民の健康づくりに努めていきたい。

第三次男女共同参画

基本計画の重点項目について

問 男女共同参画づくりは家庭ととも

に日常の暮らしの場での生活課題であ
り、身近な地域コミュニティの再生には
男女共同参画が不可欠である。

推進委員の数、組織の体制は。

市長 今年は20名の方に

委嘱した。昨年度は出前講座に23回、
84名を対象に実施した。

問 女性区長を推進する計画は。

市長 国の目標は平成27年に10%とな

っているが、坂井市の今後の計画は推
進計画の中で目標を掲げる予定はない。
固定的な観点から決定されることがあ
るのなら、意識をかえるために啓発を
実施することは重要である。

問 坂井市男女共同参画推進計画「ラ

イパートナー」の今後のスケジュー

ルと構成メンバー内容は。

市長 各部署等の代表者で構成された

専門部会において実施する。市男女共
同参画審議会に諮る。今年秋から見直
しの作業に入り、3月に発行する予定。

問 幼少の頃から男女共同の意識を育

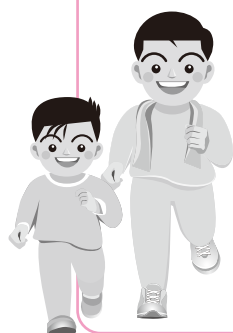
てることが大切と考え副読本を発刊し
ている自治体があるが。

教育長 市独自の副読本は作成してい

ないが、心のノートを活用し男女共同
参画社会の実現に向けて子どもたちの
意識の醸成を図っていきたい。



田中千賀子



まちづくり基本条例の浸透について

上出議員 平成24年4月1日から施行となった「坂井市まちづくり基本条例」は坂井市の最高規範と位置付けられ、前文には、これからのまちづくりの主旨は市民であると明記し、第6条では市民の権利、第7条では市民の責務が示されている。

すべては市民の皆さんがこの条例を理解するところから始まるべきと思う。他市では、市民が集うところへ出向き、出前講座を行ったり、市職員がこの条例をかみ砕き職務に生かすために研修をするなど、制定後かなりの努力をしている。

市ではこの条例が市民に浸透するためにどのような方策を行うか。

市長 この条例は、議会や市の役割と責任はもとより、市民の皆さんの権利や役割について明らかにし、まちづくりへの参画と協働を推進するための仕組みや行政運営のあり方を示している。市民への浸透を図るために、ホームページ、広報などを通じて継続的に周知に努め、各種会議や会合の場を活用して、わかりやすく解説する出前講座

などにも取り組みたい。

また、職員においても、市民の目線での行政運営を推進するために、積極的な地域活動への参加を促しており、職員も地域の一員としてまちづくりを推進する役割を担うことは重要なことと考えるので、職員研修などを通して、職員自体もこの条例の周知と理解に努めたい。

また、先般、若い人たちが坂井市応援隊という団体を立ち上げたが、今後とも、市民の皆さんの自主的な活動がまちづくり推進エンジンとなるように支援を行う。



▲まちづくり基本条例(広報さかい1月号掲載)



上出 純宏

新幹線と在来線、その問題点

▼新幹線整備と並行在来線の第3セクター化について、

市長の基本認識を問う

松本議員 新幹線の時間短縮効果と経済波及効果は。

市長 福井・東京間は、約40分の短縮。北陸経済連合会の調査では、交流人口が6,000万人増加、経済波及効果が年間260億円になるとの試算である。

▼フリーゲージ方式の問題点は。

市長 関西方面へ直結する列車設定が可能である反面、長距離の高速走行の耐久性など技術的課題がある。

▼在来線の運賃引き上げは仕方ないか。

市長 関係機関による対策協議会において、坂井市の意見を申し上げたい。

▼10mあたり約1億円の事業である。国土交通省の試算では、25分の短縮となっている。費用対効果は低いと考える。

市長 問題があるが、市の責任者として同意は間違っていない。

▼「脱原発をめざす市長会議」に参加を

問 大飯原発再稼働を決めたが、国民

県民は許していない。

大飯原発再稼働に反対を表明し、原発からの撤退を政府に求める行動を。

市長 安全確保と原子力防災対策の強化を強く要望したい。

▼「脱原発をめざす市長会議」に参加を。

市長 国や県の今後の方向を見極めながら、議会の皆さんと検討する。

▼低所得者のために医療費の減免制度を

問 国民健康保険法44条の規定を受け、具体的な基準を設け、法の趣旨を生かすことを求める。

市長 実施自治体の状況を踏まえ、調査研究を行う。

▼市立三国病院



松本 朗



総務教育常任委員会

財務部

問 坂井市税条例の一部改正を行っているが、自治体への税収を増やすことにより、どのような施策を行うものか。

答 現在整備している学校の耐震化事業などの起債償還に充てるとともに、今後防災対策事業をより充実していきたい。

問 ルネサス関西福井工場（春江町）が工場を閉鎖した場合、市に及ぼす影響をどのように試算しているか。

答 工場で働く従業員の個人市民税や法人市民税に影響が出てくると思われる。

総務部

問 （財）自治総合センターによるコミュニティ助成事業として、いちい野地区に子供神輿と太鼓を、大石まちづくり協議会に机、椅子などの備品購入の助成をしているが、その財源は。

答 自治宝くじの収益が財源となる。

問 坂井市交通安全対策会議設置に関する条例改正の内容は。

答 市長自らが構成メンバーに入り、事故のない住みよいまちづくりのため責任をもって対応するものである。

教育委員会

問 春江西公民館の屋上防水修繕方法は。

答 屋上に遮水シートを貼る。また、各公民館にドレン廻りの清掃を徹底するよう管理指導もしていきたい。

問 子どもたちにどのような放射線教育をしているか。

答 中学生を対象に放射線測定器などの教材を使って理科の授業を行っている。



放射線測定器▶



生活福祉常任委員会

福祉保健部

問 三国社会福祉センター正面外階段の老朽化の修繕を事前着工した理由は。

答 ひび割れや欠損により、非常に危険な状態であり、7月1日に「あい愛祭り」により大勢の人が出入りするため、安全面を配慮し、対応した。

問 区が管理している遊具整備方針は。

答 区の要望に基づき、危険な箇所から整備する。

問 敬老会のあり方について。

答 庁内の関係部局と検討し、区長会・公民館・まちづくり協議会・老人会などからアンケートをとり、方向性を出していきたい。



▲北陸電力(株)三国太陽光発電所(坂井市三国町)

生活環境部

問 7月で外国人登録法が廃止されるが、今後の外国人の管理はどうか。

答 7月9日からは外国人住民にも住民票が作成され、住民基本台帳制度と新しい在留管理制度で管理されていくこととなる。

問 太陽光発電設置の補助金は。

答 国は1kw当たり4万8千円、県は2万4千円、市は1万2千円。

問 公共施設などの指定管理の改定時期には、カーボンオフセットを条件にできないか。

答 関係部局と協議し、具体的に盛り込めるかどうかも含めて検討していく。

問 コミュニティバスの今後の方向性は。

答 今年度末までに方向性を見出して平成25年度に本格的に検討していきたい。

※カーボンオフセット…人間の経済活動や生活などを通して「ある場所」で排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などによって「他の場所」で直接的、間接的に吸収しようとする考え方や活動の総称である。



産業建設常任委員会

産業経済部

問 三国温泉のポンプ交換について、経費削減の十分な検討がなされているのか。

答 30軒以上の民宿などに給湯しているため、止めることができない状況のなか、修繕や交換をしなくてはならない。ポンプメーカーと協議をし、機械自体の長寿命化を図っている。

問 グリーンツーリズムの推進はできないのか。

答 竹田地区、丘陵地、砂丘地において検討している。

問 丸岡城の料金所はお城の入口に置き、散歩や写真撮影が自由にできるようにすべきでは。

答 発券の場所や人員配置などの問題があるが、試験的に行えないか検討中である。

問 観光資源として、春江地区の「ゆり」、三国地区の「ラベンダー」「ひまわり」を活用したかどうか。

答 観光パンフレットや観光案内コース作りのなかで活用を考えていきたい。

建設部

問 市道の改良工事予算1億2千万円では少ないのではないのか。

答 昨年度予算より、3千万円増額している。危険度の高い箇所から進めている。

問 大雨などによる災害危険箇所は把握しているのか。

答 把握している。また警報が出た場合には、危険箇所を重点的に巡視している。

問 空き家対策についての条例制定について。

答 坂井市空家・廃屋対策検討委員会において、他市の条例なども調査してきた。本年度中の条例制定に向けて作業を進めている。



※グリーンツーリズム…
農山漁村地域において
交流を楽しむ滞在型余
暇活動

議会の構成



■総務教育常任委員会



■生活福祉常任委員会



■産業建設常任委員会

○議会運営委員会

委員長 前川重雄 副委員長 上出純宏
田中哲治 松本 朗 東野栄治 伊藤聖一
川畑孝治 橋本充雄 田中千賀子 嶋崎正宏

○特別委員会

・行財政改革

委員長 高間正信 副委員長 辻 人志
南北ちとせ 古屋信二 上出純宏 佐藤寛治
東野栄治 伊藤聖一 前田嘉彦 前川重雄
畑野麻美子 田中千賀子

・総合交通対策

委員長 川畑孝治 副委員長 田中哲治
松本 朗 橋本充雄 高間正信 山田 栄
広瀬潤一 田中千賀子 木村 強 岡田十八
山本洋次

・都市活性化

委員長 嶋崎正宏 副委員長 畑野麻美子
南北ちとせ 佐藤寛治 東野栄治 前田嘉彦
永井純一 前川重雄 岡田十八

・予算

委員長 山田 栄 副委員長 佐藤寛治
委員は全議員（議長除く）

平成24年度

一般会計6月補正予算概要

補正額 2,149万円（補正後の額 331億2,149万円）

〈主な事業〉

・ 企画事務事業 500万円 地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るための補助。	・ 小学校管理事業 520万円 4月の強風による破損施設の修繕、及び教室への扇風機配置費用。
・ 園芸産地総合支援事業 △1,098万円 園芸戦略品目を栽培・出荷する施設整備に対する新規助成、及び当初事業計画の変更等による補助金の減額。	・ 中学校管理事業 136万円 教室への扇風機配置費用。
・ 6次産業化推進事業 120万円 認定農業者等に対して、自ら生産した農産物の加工や販売の施設等整備に必要な経費を支援。	・ 中学校教育振興事業 310万円 環境・エネルギー教育について、生徒の理解を深め、自ら考え判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成するための費用
・ ゆあぼ〜と管理運営事業 544万円 給湯ポンプ修繕工事に伴う指定管理者への負担金及び、4月の強風被害による煙突修繕費。また、4号井水中ポンプ購入費。	・ 公民館維持管理事業 130万円 丸岡・春江西・竹田公民館修繕費用
・ 教育委員会事務局事業 100万円 教育科学振興のための指定寄付金を、市立19小学校に対し理科の教育振興に活用する。	・ 三国学校給食管理事業 190万円 三国学校給食センター排水管改修工事費
	・ その他事業 697万円

広域連合・一部事務組合報告

坂井地区広域連合

- 平成24年3月：第2回三国あわら斎苑組合臨時会
 - 平成23年度一般会計補正予算他1件が可決。
平成23年度一般会計予算 5,370万円
- 平成24年4月：第41回臨時会
 - 平成24年度一般会計補正予算他5件が可決。
平成24年度一般会計予算 2億8,885万円
特別会計予算 94億2,212万円
 - 議長・副議長の選挙
議長 伊藤聖一（坂井市）、副議長 卯目ひろみ（あわら市）

福井県後期高齢者医療広域連合

- 平成24年3月：第1回定例会
 - 平成24年度一般会計予算他5件が可決。
平成24年度一般会計予算 4億9,082万円
特別会計予算 968億2,395万円
 - 一般質問
松本議員「現行制度を廃止することについて」

五領川公共下水道事務組合

- 平成24年3月：第84回定例会
 - 平成24年度 下水道事業会計予算他3件が可決。
収益の収入 4億 800万円
収益の支出 3億6,332万円
資本的収入 6,469万円
資本的支出 2億6,440万円

額北消防組合

- 平成24年3月：第1回定例会
 - 平成23年度一般会計補正予算他5件が可決。
平成23年度一般会計予算 21億 629万円
平成24年度一般会計予算 25億1,900万円
 - 一般質問
畑野議員「災害時要援護者に関する実態把握と支援体制について」
- 平成24年5月：第2回臨時会
 - 平成24年度 一般会計補正予算1件が可決。
平成24年度 一般会計予算 25億3,660万円
 - 議長・副議長の選挙
議長 向山信博（あわら市）、副議長 釣部勝義（坂井市）

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

- 平成24年3月：第153回定例会
 - 平成24年度一般会計予算他5件が可決。
平成24年度一般会計予算 22億8,330万円
 - 管理者の互選 管理者 坂本憲男（坂井市長）
 - 一般質問
松本議員「東日本大震災被災地の^{がれき}瓦礫受け入れについて」

武生三国モーターボート競走施行組合

- 平成24年3月：第1回定例会
 - 平成24年度一般会計予算他2件が可決。
平成24年度一般会計予算 345億9,758万円

6月定例会に提出された議案と議決結果

○・・・賛成 ×・・・反対
 -・・・原則採決に参加できない

議案番号	件 名	議席 審議 結果	1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	25	26
			南北 ちとせ	古屋 信二	上出 純宏	田中 哲治	佐藤 寛治	松本 朗	東野 栄治	伊藤 聖一	辻 人志	川畑 孝治	前田 嘉彦	橋本 充雄	永井 純一	前川 重雄	畑野 麻美子	高間 正信	山田 栄	広瀬 潤一	田中 千賀子	嶋崎 正宏	木村 強	岡田 十八	山本 洋次	釣部 勝義
議案第36号	平成24年度坂井市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第37号	福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第38号	福井県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第39号	坂井市交通安全対策会議設置条例の全部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第40号	坂井市税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第41号	坂井市手数料条例等の一部を改正する条例に制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第42号	訴訟上の和解について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第43号	平成24年度坂井市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第44号	春江中学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第45号	春江中学校東校舎・南校舎耐震改修工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第46号	春江中学校仮設校舎建設工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第47号	春江中学校耐震改修電気工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第48号	春江中学校耐震改修設備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第49号	坂井中学校南校舎耐震改修・東渡り廊下改築工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第50号	坂井図書館新築工事（建築）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	平成23年度坂井市一般会計繰越費繰越計算書の報告について	受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第2号	平成23年度坂井市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第3号	平成23年度坂井市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第4号	平成23年度坂井市病院事業会計繰越費繰越計算書の報告について	受理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
発議第8号	高齢化社会対策特別委員会廃止に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
同意第6号	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案 答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第1号	停止中原発の運転再開を拙速に進めず、早急に「脱原発プログラム」を策定するよう求める意見書提出について	趣旨 採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



初の議会報告会を開催!!

4月1日より施行となった「坂井市議会基本条例」に基づき、第1回の議会報告会を去る5月26日(土)、27日(日)の2日間にわたり、市内4会場で開催しました。市民110名が会場へ足を運ばれ、市政と議会に対して、各地域ならではの貴重な発言が多くあり、実のある報告会となりました。

5月26日は、三国地区が浜四郷公民館、春江地区が春江中公民館で、5月27日は、丸岡地区が城のまち会館、坂井地区が東十郷公民館において、それぞれ午後7時30分から午後9時頃まで開催しました。

まず、5月に全戸配布した「議会だより」を資料として平成24年度の予算や主な事業内容について、各常任委員会単位で説明しました。それに対する質疑が行われ、その後、市政全般に対する意見交換を行いました。初めての試みなので、議事の進行などに課題も

ありましたが、その経験を次回の報告会に活かしたいと考えます。少しでも議会の役割を理解していただき、市民の皆様のご意見を直接お聞きする機会なので、8月に開催される第2回には多くの市民の皆様にご参加いただきたいと思います。



市民の質問より

【総務教育関係】

- ・広報における予算書と決算書の説明形式について
- ・合併の効果について
- ・補助金の見直しについて
- ・職員数について

- ・まちづくり協議会のあり方について
- ・議会活動に対する監査について
- ・税金の未納者対策について
- ・丸岡の祭りのあり方について
- ・坂井中学校の工期について
- ・春江坂井給食センターについて

【生活福祉関係】

- ・コミュニティバスの目的について
- ・敬老会の今後について
- ・保育所の送迎バスについて
- ・三国病院の医師の確保について
- ・ジェネリック医薬品について

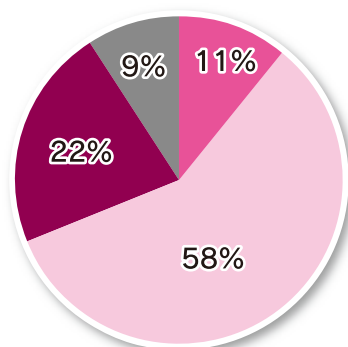
【産業建設関係】

- ・パイプライン事業に関わる上部利用について
- ・道路の維持管理について
- ・有害鳥獣の対策について
- ・北陸新幹線の建設に伴う地元負担について
- ・JR春江駅について
- ・除雪について
- ・商業者の振興について
- ・空き家対策について

アンケートから見る 議会報告会へのご意見

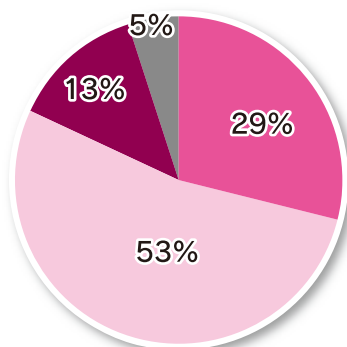
- ・当報告会の開催要旨をもっと地域住民に知らせる方法を考えてほしい。
- ・議会基本条例の制定をはじめ、市民に開かれた議会改革に取り組んでいる事に対し、敬意を表したい。
- ・参加者が少ないように感じた。議会に関心が無いのか。
- ・理事者へ質問した後、もう一度フォローし、その後どう対応したのか確認してほしい。言いつばなしにしない。
- ・質疑は簡単明瞭に短く。
- ・今後も継続して行ってほしい。
- ・質問者1人の意見が長すぎる。司会者は、調整してほしい。
- ・もっと議員は発言してほしい。
- ・質問に対し、的確な回答があり大変よかった。
- ・報告だけで結果の説明がないので、分かりにくかった。
- ・市発展に向け、議員全員が一致協力して行動をお願いしたい。

説明時間はどうでしたか



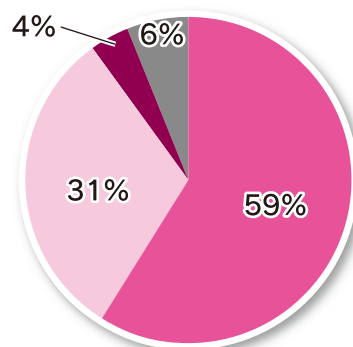
■ 長かった
■ ちょうど良かった
■ 短かった
■ 無記入

説明の内容はどうでしたか



■ 分かりやすかった
■ どちらとも言えない
■ 分かりにくかった
■ 無記入

本日の議会報告会はどうでしたか



■ 評価する
■ どちらとも言えない
■ 評価しない
■ 無記入

知っていますか？

坂井市の花は「ユリ」。木は「サクラ」。鳥は「カモメ」です。
下記のシンボルデザインは市制施行5周年を記念して作成されました。



坂井市の花
ユリ



坂井市の木
サクラ



坂井市の鳥
カモメ

議会報告会を開催します

「議会基本条例」に基づき、定例会ごとに議会報告会を開催します。

今回は、6月議会の内容について下記の会場にて開催しますので、みなさまのご参加をお待ちしています。

開催日時	会 場			
8月18日(土) 午後7時～	鳴鹿公民館 1階 会議室	丸岡町上金屋5-10-12	TEL 66-7452	
	兵庫公民館 2階 大会議室	坂井町上兵庫65-15-1	TEL 72-1898	
8月19日(日) 午後7時～	三国公民館 3階 視聴覚室	三国町北本町2丁目1-33	TEL 82-6400	
	春江西公民館 1階 多目的ホール	春江町本堂22-15	TEL 51-5219	

(市民の方は、どの会場でも参加自由です)

☆議会を傍聴してみませんか

9月定例会会期日程(予定)

- 8月31日(金) 午前10時～ 全員協議会
- 9月 7日(金) 午前10時～ 本会議(行政報告・議案説明など)
- 9月18日(火) 午前10時～ 本会議(一般質問)
- 9月19日(水) 午前10時～ 本会議(一般質問)
- 9月21日(金) 午前10時～ 産業建設常任委員会
- 9月24日(月) 午前10時～ 生活福祉常任委員会
- 9月25日(火) 午前10時～ 総務教育常任委員会
- 9月28日(金) 午前10時～ 本会議(委員長報告・採決など)

※ 予定ですので、今後変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先 TEL 50-3001 議会事務局

編集後記

今年も厳しい夏になりそうです。この議会だよりが発行される頃は、坂井平野は早生の稲穂が実りつつ、そばの播種が始まるころではないでしょうか。自然を相手にする仕事は大変やりのがあり収穫の喜びも大きいと思います。

坂井市の発展という大きな収穫を目指し、行政や議会活動も市民(自然)相手に同じことが言えるのではないのでしょうか。

今年、議会基本条例が制定され開かれた議会を目指して行かなければならないと強く感じています。そのためにはこの紙面を通じて広く市民に議会をもっと関心を持っていただけるよう編集に頑張りたいと思います。

(N F)



広報編集委員会

委員長 永井純一	副委員長 古屋信二
南北ちとせ	田中哲治 佐藤寛治
東野栄治	伊藤聖一 辻人志
畑野麻美子	田中千賀子